

問 市民の誇りを確認できるイベントの推進について、市の「思い」を問う。

答 飛騨市には市民が誇りを抱ける地域資源が多分野にわたり多く有り、それぞれについて幅広く取り上げ、市民の誇りを認識できる部分を広めたい。



中村 健吉 議員

問 ①かつてのテレビドラマ・映画を利用するイベントの意義は。②「飛騨の系引き工女」にかかるとるミニ企画展の内容は。③市民が誇りを抱けるイベント推進についての「思い」は。

答 ①かつてのテレビドラマ・映画を利用するイベントの意義は。②「飛騨の系引き工女」にかかるとるミニ企画展の内容は。③市民が誇りを抱けるイベント推進についての「思い」は。

問 道の駅「アルプ飛騨古川」に対する市としての働きかけの限界について。

答 民間事業者の所有施設であるの、運営については現状を継続せざるを得ない。

問 ①事業者との話し合いの結果について。②話し合いでの事業者の回答は。③市で最も強く運営に要望可能な部署はどこか。④金銭面での援助は継続されるのか。⑤飛騨市として、事業者に対する対応は現状のまま続くのか。

答 ①平成29年12月の再オープンからこれまで二回（30年2月・6月）話し合いを持った。次回は年明けを予定。市側からは運営状況や今後の方針等具体的提案をした。②対する業者側の回答は「新メニュー開発は厨房スタッフの育成後二給仕システムはコスト面から

◆ 泉原商工観光部長

る。

②明治以後、製糸産業に携わることで、日本経済の一翼を支えた飛騨地方の女性達の偉業を詳細に史実調査し、歴史的事実・評価・エピソードなどを交えて多くの手段を駆使して広く紹介したい。いずれは町内に常設の資料館を設置したいと考えている。③飛騨市を誇りに思うことが新たなまちづくり活動・行動へと繋がる。市内の多くの意味深い資源を取り上げ、出来るだけ多くの市民の意識にヒットする部分を示したい。

連合審査会Q&A
連合審査会とは、審査のため、総務・産業の各常任委員会が合同で審査するものです。指定管理者の指定に関する審査内容の一部をQ&Aにて掲載します。

Q 施設により審査員の人数の違いがあるのは。
A 審査員の人数等はそれぞれの部署で決定する。味処飛騨古川については、観光施設なので、観光客目線で評価・選定していただくため、市外の観光事業者等を審査委員として選定した。

Q 指定管理施設は公の施設である。地方自治法244条に定められた住民の福祉のための施設である。審査員の人数は全施設同じ人数でやるべきでないか。
A 指定管理者の選定委員会の審査員の人数の定めはない。

Q 所管ごとに審査員を選定するのは。
A 所管部署単位である。それぞれの施設が一番詳しい人を審査員として選

定している。
Q 審査員の選定は市内のことをよくわかった人も入れるべきでないのか。また審査員人数は増やすべきでないか。
A 多ければ多いほどよいと思われるが、上限・下限の人数を決め、選定していきたい。市内の実情を理解した人が入るべきかどうかは、なかなか難しい。その都度判断していきたい。

Q 今回、全国公募・市内公募・非公募と3つの応募方法をされた。今回市内の中で、いくつか応募が競合する施設はあった。これは全国公募をかけたことによつての効果ではなかったか。今の段階で全国公募をした効果は表れているのか。
A 市内の事業者の数は少ないため近隣のところまで含めて手を挙げるということが出てきたことを考えると、競争性が働いてきたと考える。

Q まつり会館は改修のため非公募で1年限定である。今後は非公募なのか、全国公募なのか。
A まつり会館は博物館的な施設として直営にするのか、指定管理施設にするのか検討したい。

Q 指定管理は直営にしたほうがよい施設もある。見直しが必要でないか。
A 運営委員会において見直しも含めた議論を行っている。指定管理料の見直しをする際に、直営にすると安くなるから直営にする。あるいは指定管理料が多少高くてもサービスが上がることから指定管理施設とするものもある。

